

安全報告書

2022年度版

肥薩おれんじ鉄道

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組や安全の実態をまとめたものです。ご意見・感想をお寄せ下さい。

1 お客さまをはじめ地元の皆さまへ

肥薩おれんじ鉄道をご利用いただくお客さま、そして、沿線地域をはじめとする関係者の皆さまには、当社の事業にご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。

当社は、「安心と信頼をもとに、鉄道のある風景を未来へ～あなたと大切な人を繋ぐ線であり続ける～」を目指して、地域の足そして地域活性化の役割を果たすため、日々努力をしております。

2022年度は、梅雨明け後も大雨や台風が相次ぎ、列車の運休等を余儀なくされました。このため、お客さまには大変ご不便をお掛けしましたが、大きな被害はありませんでした。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全運行の実態について公表するものです。安全で安心な地域鉄道を目指して参りますので、ご意見やご感想をお聞かせ下さいますようお願い申し上げます。

肥薩おれんじ鉄道株式会社 代表取締役社長 古森 美津代

2 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように定め役員・社員はじめ鉄道事業に携わる全ての関係者に周知・徹底しております。

- ① 安全の確保は、輸送の生命である。
- ② 規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。
- ④ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- ⑤ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標(2018～2022年度)

区分	項目	内容
目標	列車事故	発生させない。
	乗客の死亡事故	乗客の死亡事故は発生させない。
	踏切の故障に伴う事故	発生させない。

※列車事故とは列車衝突事故・列車脱線事故・列車火災事故の総称

(3) 安全目標に対する実績(件数)

年 度	2018	2019	2020	2021	2022
列車事故	0	0	0	0	0
乗客の死亡事故	0	0	0	0	0
踏切の故障に伴う事故	0	0	0	0	0

※平成16年3月開業以来、列車事故等は発生していません。

3 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

年 度	2018	2019	2020	2021	2022
事故件数	0	1	0	2	0
死傷者	0	0	0	2	0
うち死亡者	0	0	0	1	0

※鉄道運転事故とは列車事故・踏切傷害事故・鉄道人身傷害事故・鉄道物損事故の総称

(2) 災害(地震、暴風雨などによる鉄道施設への被害)

2022年度は、6月下旬から9月中旬にかけて、梅雨期ならではの連日の大雨に見舞われ、列車の徐行運転や突発的な運休手配等を実施しました。また、9月に入って複数の大型台風の襲来により、1日すべての列車を計画運休するなど、数多くのお客さまに多大なご迷惑をおかけしました。ただ、一部の設備に簡易な被害があったものの、長期にわたる列車の運転見合わせには至りませんでした。

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

2022年度に発生した輸送障害は表の通りです。

項 目	件 数	特 記 す べ き 輸 送 障 害
自然災害など	21	地震や大雨・大雪により生じたもの
設備故障など	5	車両、保安装置の不具合により生じたもの
第三者障害など	1	踏切障害事故や列車支障により生じたもの

(4) インシデント(事故の兆候)

2022年度は、インシデントの発生はありませんでした。

※インシデントとは重大な事故などの危難が発生する恐れのある事態の総称

(5) 行政指導等

2022年度は、行政から指導をうける事象はありませんでした。

4 重点安全施策の内容

(1) 重点安全施策

去る令和5年1月19日10時38分、川内川橋梁のペイント作業を行っていた業者社員が感電死するという痛ましい事故が発生、一人の尊い命が犠牲となりました。これはわが社が発足後初の部内死亡事故であり、元請会社の作業監督者が誤った判断をしたのが最大の要因ですが、発注元である当社においても、再発防止対策を定め、このような不幸な事故が2度と起きないように取組んでいくこととしました。

このほか工事に対する安全対策として施工会社への作業立会や安全パトロールなどによる、安全作業の点検と指導に取組み、施工方法・手順の遵守、保護具の着用等について周知徹底を図り、運転事故及び労働災害の防止に取組みました。

運転士の指導に係わる事項の一つとして、検知器によるアルコール検査を日々出勤時に、また睡眠時無呼吸症候群(SAS)について簡易なスクリーニング検査を定期的実施し、酒気帯び運転防止や社員の健康管理に努めました。また、コロナウイルス感染症対策として、全車両への抗ウイルスコーティング加工を行っており、また毎日のように車内全体の次亜塩素酸を使用した除菌作業を実施しています。

(2) 異常時対応訓練

当社では、安全・安定輸送を第一に異常時対応訓練を毎年実施し、早期運転再開に向け 知識・技術力の向上に取組んでいる外、有事の際のお客さまを守るための訓練も行っています。(2022年度訓練実績)

- ① 袋駅～米ノ津駅間において「車両故障発生時」、及び「場内信号機故障発生時」を想定した「異常時運転取扱訓練」を実施すると共に、避難梯子を使用した「お客さま避難誘導訓練」を併せて実施しました。
- ② 出水基地(運輸部)において、脱線から復旧に至るまでの「脱線復旧訓練」と「お客さま救済訓練」を地元の警察・消防にもご参加いただき開催しました。
- ③ 八代駅貨物線においてJR貨物と合同で実際に車両を脱線させ、復旧に至るまでの「脱線復旧訓練」を開催しました。
- ④ 阿久根警察署の協力のもと、車内に不審者が現れた際のお客さまを守るための対応方などに関する「防犯訓練」を開催しました。

(3) 安全・安定輸送のための設備投資

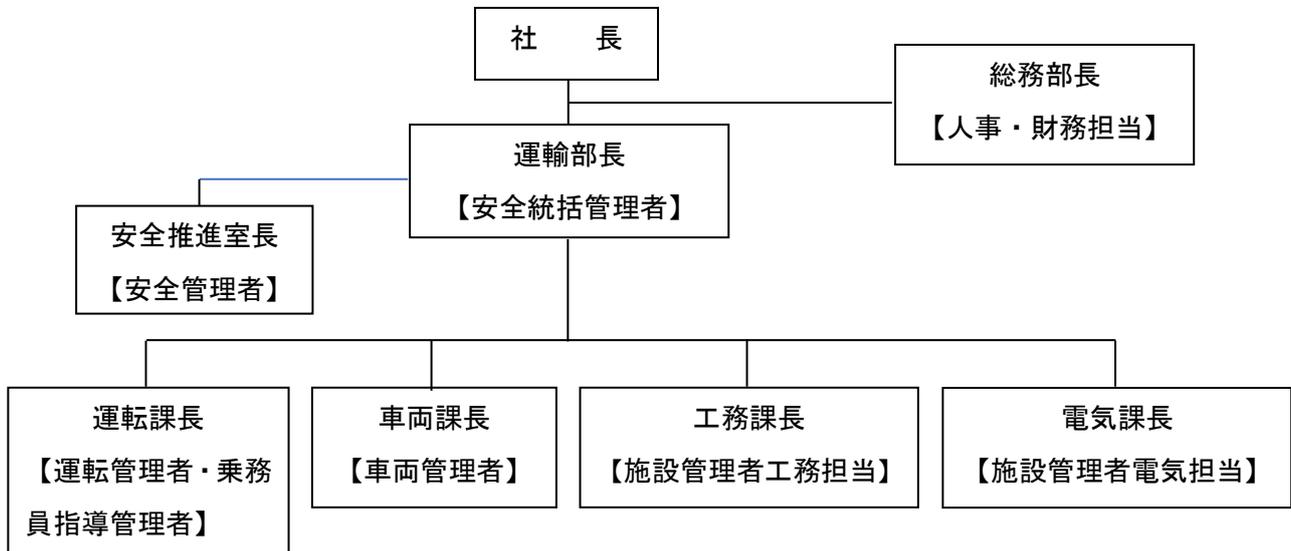
設備面ではレールの更换やマクラギのPC化、信号保安設備更新、踏切保安設備更新など毎年計画的に実施しています。また視覚障害者のホーム転落防止のため、全ての駅ホームに点字ブロックを整備しています。

2022年度は、気象表示システムの携帯端末表示化、地震計の設備更新を行うとともに、車両面では8両の重要部検査を実施したほか、車両先頭部に獣害対策の施工を初め、機関バッテリーなど各種車両機器の更新を行い、安全・安定輸送の維持・向上を図るとともに、乗り心地の向上にも取組みました。また車内に暴漢が現れた際、お客さまを守るための防護盾を全車両に設置しました。さらに、お客さまへの情報発信ツールとして全駅にデジタルサイネージを設置しました。

5 安全管理体制

(1) 組織体制

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、各部門の管理者等がそれぞれの責務を明確にした上、安全確保のための役割を担っています。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
運輸部長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
安全推進室長 【安全管理者】	鉄道事業運営に係る安全管理業務を総括する。
運転課長 【運転管理者・乗務員指導管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項及び運転士の資質の保持に関する事項を統括する。
車両課長 【車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
工務課長 【施設管理者工務担当】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
電気課長 【施設管理者電気担当】	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項を統括する。
総務部長 【人事・財務担当】	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

6 利用者・地域の皆さまとの連携とお願い

(1) こども110番の駅

肥薩おれんじ鉄道の有人9駅では、「こども110番の駅」として地域の子どもを守るための取り組みを行っています。

(2) 防犯カメラの設置

肥薩おれんじ鉄道では、安心して駅施設をご利用頂けるよう、主要駅に防犯カメラを設置しています。

さらに2022年度は、列車内での犯罪を抑制することを目的として、全車両に防犯カメラを搭載しました。

(3) お客さま同士のお声掛けのお願い

体のご不自由な方、特に視覚に障害をお持ちのお客さまがホームから転落されてお亡くなりになるという悲惨な事故が、全国各地の鉄道会社で発生しています。

弊社社員にも、ホームでお困りのお客さまへのお声掛けを指導していますが、お客さま同士のお声掛けにつきましても、ご協力よろしくお願い致します。

7 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組に対するご意見をお寄せ下さい。

肥薩おれんじ鉄道お客さまご案内窓口

TEL.0965-32-5678 FAX.0965-32-5411

E-mail info@hs-orange.co.jp

■月～金 9:00～17:30（祝休日を除く）